

2020年夏休み

東国文化自由研究

「風景印に選ばれた埴輪」

5年2組(22) 森 仁志

1. 埴輪を好きになっただきっかけ

太田市でやっていた「おおたんの史跡探検スタンプラリー」に2年間参加して、古墳と資料館をまわり、きょうみもちました。

2. テーマの選定理由

群羊馬の埴輪の情報がかいてあるHANI一本を読んで、風景印というものを知り、どんなものか見てみたくなったから。

3. じゅんびしたものの

- ① HANI一本
- ② ハガキ
- ③ 資料館パンフレット



4. 調査方法

HANI一本や郵便局のホームページで風景印のある場所をさがす。



自分あてにハガキをおくる。



風景印に選ばれたはにわのこをパンフレットやインターネットで調べる。

5. 調査する風景印

① 藪塚本町郵便局

② 大泉郵便局

③ 太田郵便局

調査① 藪塚本町郵便局

HANI-本名

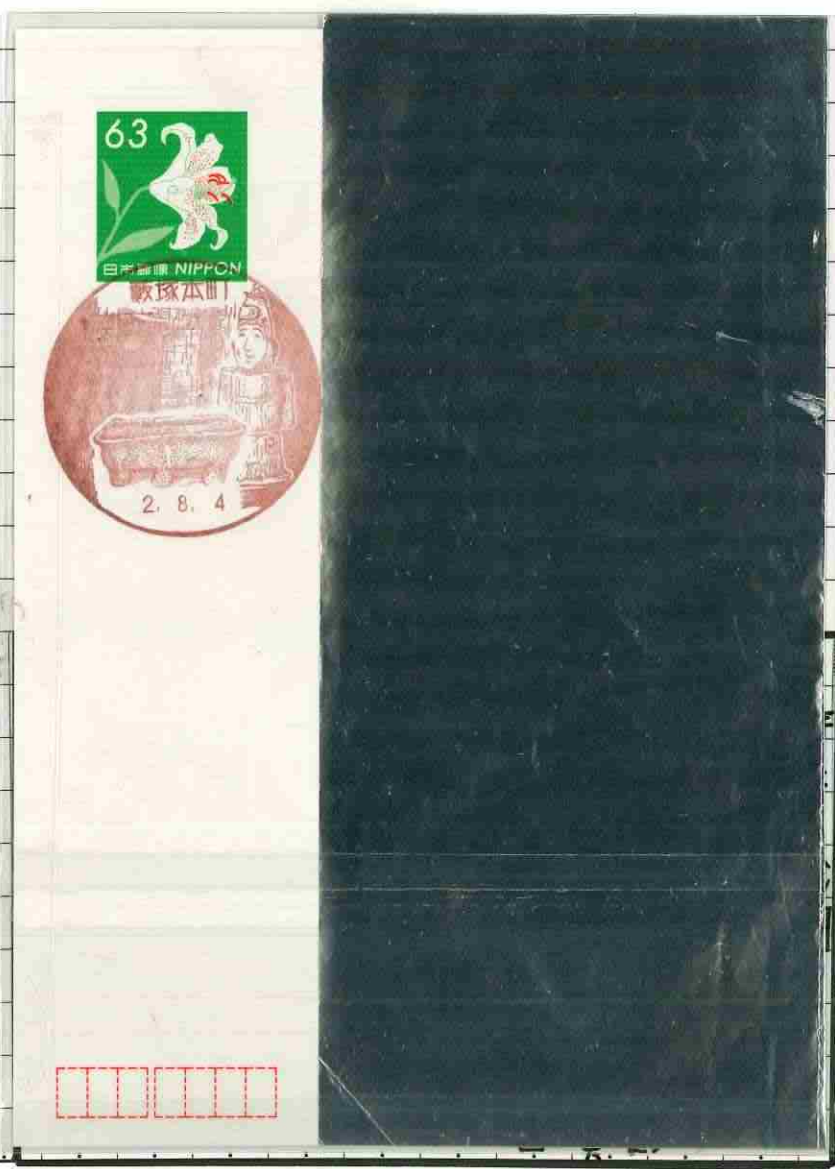
風景印にある絵

- ・石切場跡
- ・街道橋古墳陶棺
- ・埴輪

盾をもつ男子

出土場所: 若水塚古墳
 形 : 不明
 高さ : 100.5
 古墳時代6世期
 東京国立博物館蔵

ハニワ以外の情報 めくる



盾持人のとくちょう



調査① 藪塚本町郵便局

HANI-本名

風景印にある絵

- ・石切場跡
- ・街道橋古墳陶棺
- ・埴輪

盾をもつ男子

出土場所: 若水塚古墳
 形: 不明
 高さ: 100.5
 古墳時代6世期
 東京国立博物館蔵

HANI以外の情報 めくる

石切場跡

明治中頃～昭和30年頃まで活躍していた。高さが15m以上あり、いせきみたい。

採石場で、仮面ライダーやスーパーせんたいのさつえい場所にも使用されている。

今は、立入禁止になっている。

盾持人

のとくちょう



街道橋古墳陶棺



【陶棺】街道橋古墳（藪塚町）
はしりつ ひつぎ
 土師質の棺で、群馬県内での出土例は非常に少なく、古墳時代後期の主に近畿や中国地方で使われました。この陶棺は、藪塚駅付近にあった古墳から出土しており、本来は丸く盛り上がった蓋が付きます。

・この古墳は、昭和26年に群馬大学が調査した。

・陶棺とは、古墳時代後期～終末期に用いられた木棺形。

形: 前方後円墳
 横穴式石室
 古墳しょうめつ

調査② 大泉郵便局

風景印にある系絵

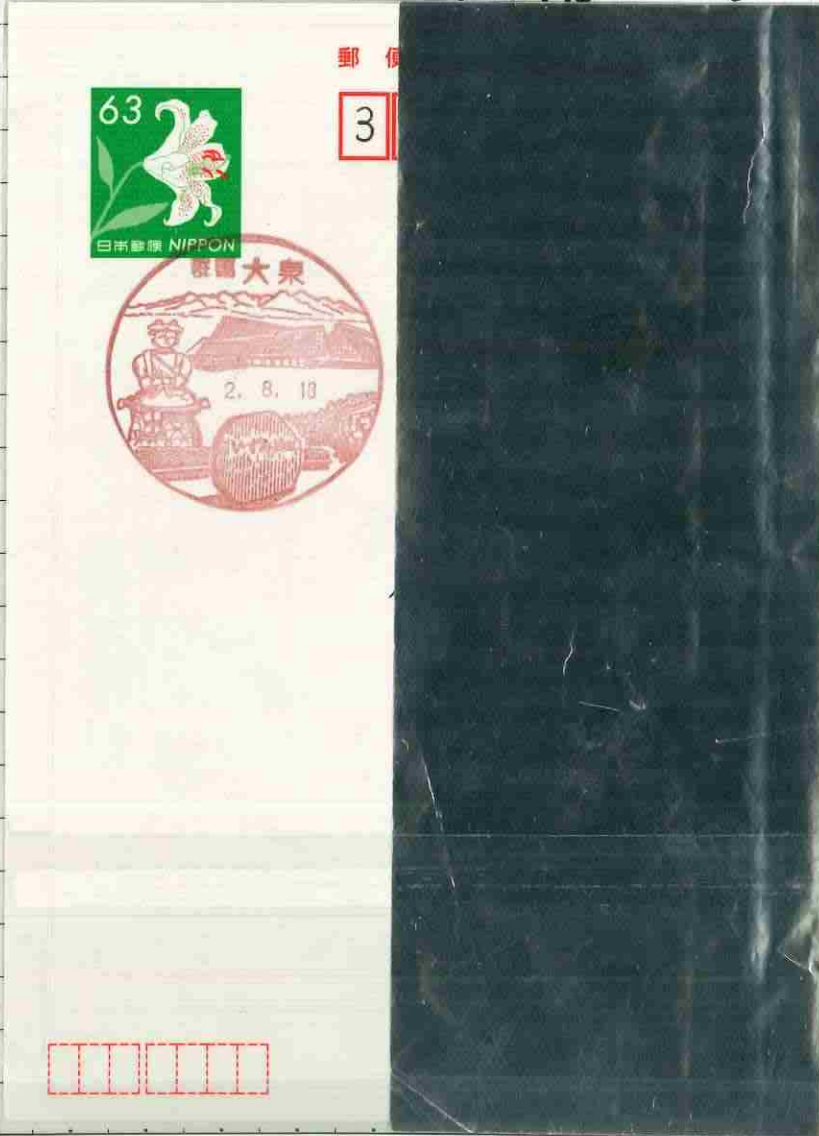
- ・ 赤城山
- ・ 大泉町文化むら
- ・ 埴輪
- ・ 11 ずみ緑道
- ・ 標石

HANI-本名なし

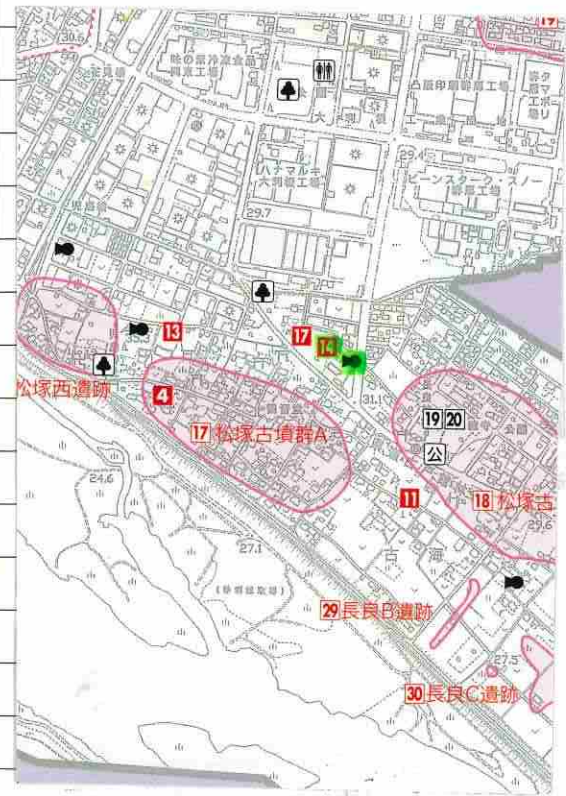
椅子に月要かけた女子

出土場所: 古海天神山古墳
 形: 帆立貝式古墳
 高さ: 68.5
 古墳時代6世紀
 東京国立博物館蔵

ハニワ以外の情報 めくる



14 古海天神山古墳 大泉町大字古海
 全長約45mの帆立貝形古墳で国指定重要文化財「椅子に腰掛ける女子」が本古墳より出土したと伝えられている。主体部等は不明であるが、円筒埴輪が認められている。



調査② 大泉郵便局

風景印にある系会

- ・ 赤城山
- ・ 大泉町文化むら
- ・ 埴輪
- ・ いずみ緑道
- ・ 標石

HANI-本名なし

椅子に月要かけた女子

出土場所: 古海天神山古墳
 形: 帆立貝式古墳
 高さ: 68.5
 古墳時代6世紀
 東京国立博物館てんじ

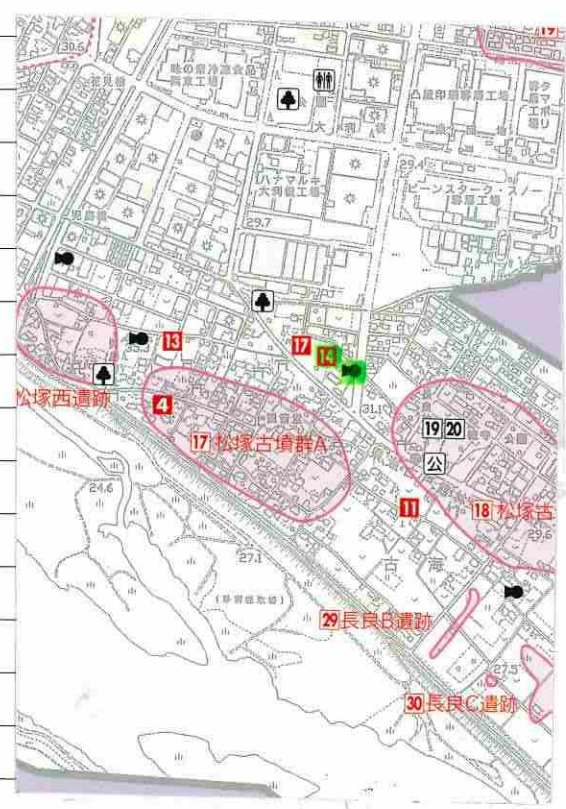
ハニワ以外の情報 めくる

14 古海天神山古墳 大泉町大字古海
 全長約45mの帆立貝形古墳で国指定重要文化財「椅子に腰掛ける女子」が本古墳より出土したと伝えられている。
 主体部等は不明であるが、円筒埴輪が認められている。

大泉町文化むら
 椅子に月要かけた女子のつくせいい品
 などがてんじされている。

いずみ緑道
 系総延長約2.8km~4kmあり
 城之内公園~系総合公園
 まであります。

標石
 いずみ緑道入口にあり、
 西小泉馬尺をおりてすぐに
 あります。



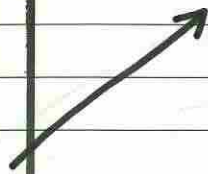
人物
 直
 倫
 頁
 了



調査③ 太田郵便局

風景印にある絵

- ・ 金山城跡
- ・ 大光院開山堂
- ・ 挂甲武者埴輪
- ・ 桜



HANI-本名

びじんくん

出土場所:長良軒土古墳

形 : 円墳

高さ : 130.5

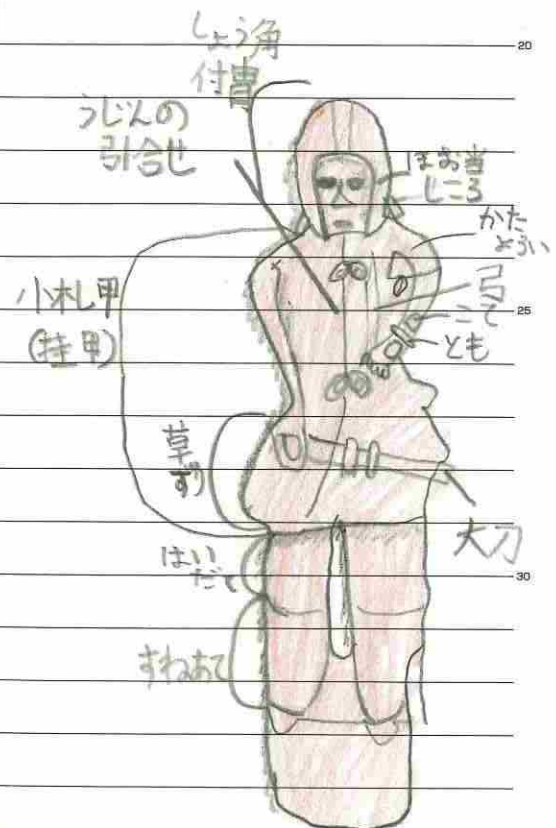
古墳時代の世期

東京国立博物館蔵

ハニワ以外の情報 ^{めくる}



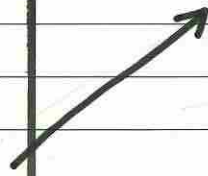
挂甲武人のそうび



調査③ 太田郵便局

風景印にある絵

- ・ 金山城跡
- ・ 大光院開山堂
- ・ 挂甲武者塙車輪
- ・ 桜



HANI-本名

ぼびんくん

出土場所:長良縣中土古墳
 形 : 円墳
 高さ : 130.5
 古墳時代の世期
 東京国立博物館官てんじ

ハニワ以外の情報 ^{めくる} ↓

金山城跡

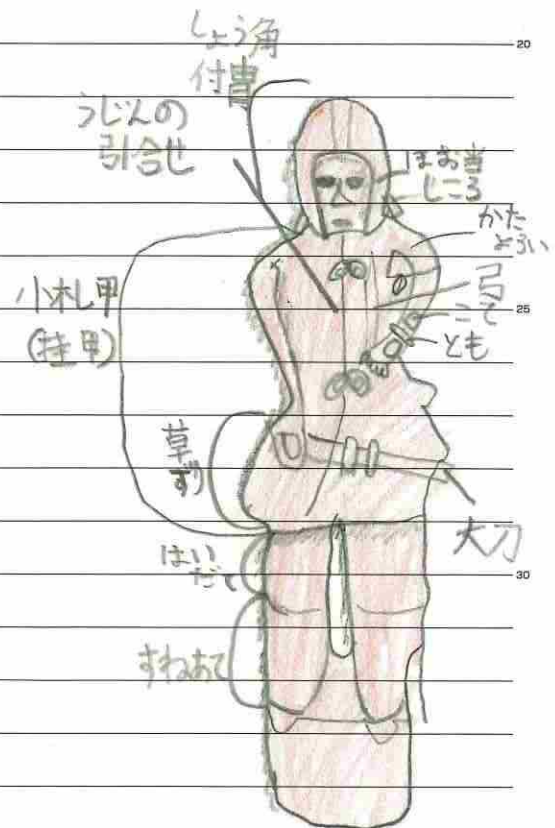
指定区分: 国指定史跡
 所在地: 太田市金山町
 40-106ほか
 標高 239m

大光院開山堂

所在地: 太田市金山町
 37-8
 創建年: 慶長18年(1613年)
 建立
 文化財: 大光院吉祥門
 (市文化財)

挂甲武人

のそうび



いろいろな所にいる武人埴輪

←長良神社



休泊行政センター



←太田 中央図書館



※ SNS、インターネットなどに、のせたりことを条件で写真をとらせてもらいました。

まとめ

◦ 風景印の絵は、市や県の指定になっているものや市の有名なものがえがかれていることがわかった。

◦ 風景印にえがかれている埴輪は、東京国立博物館にてんじされているものだと気づいた。

感想

◦ 風景印は、平日しかおしてもらえないので、気になったのがあっても、かんたんに行けなれいと思いましたが。

◦ 自分で出したハガキだけど家に届いた時がうれしかった。